



N+Technology N+Sustainability

2023 9/13水 15金 東京ビッグサイト 南3ホール



発行元:エヌプラス事務局

〒100-0013 東京都千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞が関ビル4階 アテックス(株)内 TEL:03-3503-7621 mail:office@n-plus.biz https://www.n-plus.biz

今秋、東京ビッグサイトで開催!ものづくりの複合展示会

出展申込締切迫る

「NEW」「Next」をプラスする 製品開発技術展「エヌプラス」

本年9月13日(水)から15日(金)の3日間、東京ビッグサイト南展示棟において、ものづくりの複合展示会「エヌプラス2023」が開催される。本展では日本のものづくりにおける課題解決・新用途展開につながる最新技術を発信。さまざまな業界の「研究・開発部門」が注目する12の「キーワード別展示会」で構成される。

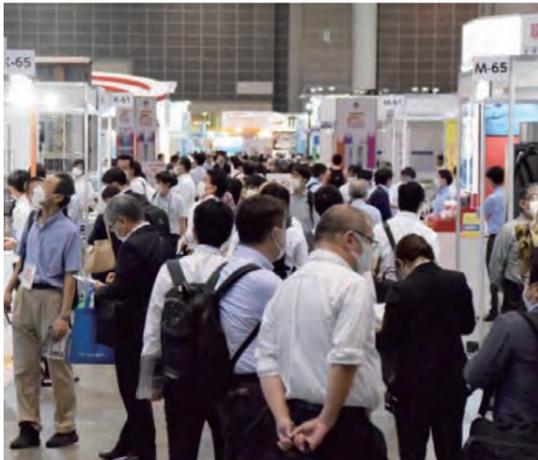
3年強におよんだコロナ禍の終息を踏まえ、企業では停滞した販促活動を加速させるべくリアル展示会活用へと戻す動きが活発化。「見送ってきた新製品の用途開拓の場」として、今年のエヌプラスは絶好の機会。「昨年はオミクロン株の影響で出展を断念。満を持してエヌプラスに出展できる。」とエヌプラスにかかる期待も極めて大きい。事務局には今月末に迫る出展申込締切を前に問い合わせが多数寄せられている。本号では、今年で14回目の開催を迎える本展の大幅リニューアルした展示構成と最新の出展者動向について紹介する。

リニューアルに反響!

異業種参入のきっかけづくり!

今年のエヌプラスは「ニッポンの素材と技術が世界を創る」をテーマに大幅リニューアル。製品の高機能・高付加価値化を提案する「N+テクノロジー」と、環境・社会にやさしく持続可能なものづくりを提案する「N+サステナビリティ」の2本軸に加え、今注目の空飛ぶクルマの専門展「フライングカーテクノロジー」(詳細は裏面参照)を同時開催する。これまで通り製品の高機能化・高付加価値化を実現する素材と技術をメインに、社会的に関心度の高い「サステナブル要素」を新たに展示対象の柱とした。次世代のものづくり技術が凝縮される空飛ぶクルマにも航空・宇宙業界はじめ自動車・IT関係者の注目が集まっております。エヌプラスとの相乗効果にますます期待が高まる。

リニューアルが奏功してか、出展検討企業は日増しに増加。「今年はオンラインからリアル展に切り替える」、「9月に東京で開催するものづくりの展示会を探していた」との声も多く聞かれる。コロナ明けに積極的な営業展開を予定する企業の多彩な出展が集まりそうだ。



コロナ禍落ち着き 出展申込続々と

N+ テクノロジー

高機能・高付加価値化の提案 「N+テクノロジー」は、「プラスチック高機能化」「コーティング・表面処理」「軽量化・高強度化」「電磁波対策・放熱技術」「電動化・電池・給電技術」に加え、近年注目されるAM技術を網羅した「受託・付加製造・加工技術」、さまざまな素材の組み合わせと異種材料接合を提案する「マルチマテリアル化」の7つをキーワードとして設定。自社の強みを活かせる技術力を持った企業のエントリーが相次いでいる。

大手化学メーカーの東レは2年連続の出展を早々に決定。高機能スポンジのアイオン、金属加工のエス・ジー・ケイ、抗菌防カビ抗ウイルス剤のエム・アイ・シーのほか、プレス部品・加工品の岡野製作所、オロル、大電といった技術力に定評のある企業が続き、さらにオカノプラスチックや東北電子産業、ハマダ工商、ヤマキ電器といった常連組の出展に加え、三井化学産産が素材保護を目的としたコーティング剤を披露する予定だ。

過去出展者も復活傾向に

コロナ禍を理由にリアル展示会でのPRを控えていた企業など、復活出展も続々と決定している。産業資材用繊維の開発先行型商社のアイティシーが5年ぶりの出展を決めたのを皮切りに、シーエスや中島工業、松尾産業が機能性フィルム研究会会員として久々の参加を表明。自社コーティング剤の販路開拓をねらう中央自動車工業は実に10年ぶりの出展となる。富士経済ネットワークスも

4年ぶりの出展に向けて最終社内調整を進める。新製品発表や商品化前の事前マーケティング、既存製品のテコ入れなど、効果的なタイミングを見計らって繰り返し出展する出展者が多いのも本展の特長だ。



業界団体と提携し、出展誘致を加速

今回は、先の機能性フィルム研究会を筆頭に業界団体とのタイアップ企画にも力を入れている。難燃材料研究会はファイラー研究会とオートモーティブ・コンポジット研究会と合同ブース展示を予定。並行して3団体の会員企業への出展誘致も進行中だ。長らくエヌプラスと協力関係にある日本チタン協会はフラスナーWGに絞って会員企業の参画を募る。名古屋大学ナショナルコンポジットセンターも同様に共同出展企業の誘致を進めるなど、情報発信に幅と厚みをもたらすこれらの企画展示にも期待が集まる。

新規出展者にも注目

新たに出品を決めた企業も見逃せない。各社が自社の強みを活かし、新たな顧客獲得へ強い意欲を示している。トリニティ工業は塗装業で培った技術力を駆使した加飾表現を、ブレインシールは自社で開発したゴム製品の拡販に注力。アスクは短納期専門工場をセールスポイントに、業界を絞らずに売り込みをかける。ほかにも除塵機械に実績を持つ藪内産業やカーボンファイバーに対応した金属3Dプリンターのマークフォード・ジャパンも初参加を決めるなど、さまざまな業界へのPRを求め、多くの企業が出展に向けた最終調整を行っている。



N+ サステナビリティ

近年、「SDGs」「カーボンニュートラル」「サーキュラーエコノミー」など、サステナブルへの取組は企業にとって至上命題のひとつ。ものづくり産業は脱炭素に対する具体的な取り組み強化が求められ、例外なくエヌプラス来場者も情報収集に余念がない。こうした背景から「N+サステナビリティ」はこれまで好評だった「環境配慮素材展」を核に「セルロースナノファイバー展」「製品の長寿命化・循環活用展」「次世代製品開発DX展」といった4つの展示会を新設。「サステナブルなキーワードを前面に出せることで、提案のバリエーションが増える」と出展者からの評判も上々だ。

3D Printing Corporation はリサイクル素材や海洋プラスチックなどを用いた造形が可能な3Dプリンターで企業のSDGsを支援。ネオテクノロジーは二酸化炭素の吸収・利用・貯蔵に着目した特許情報を発信する。大規模スペースでの出展となる堀正工業はバイオプラスチック素材や産業用不織布を紹介予定。ほかにもCO2削減を実現する機能性マスターバッチや植物由来原料比率の向上につながる素材をPRしたい企業などが着々と出展に向けた準備を進めている。関心の高い分野だけに、今後さらなるエントリーが見込まれそうだ。

実行委員会、始動!

さらなる来場動員へ 今年のエヌプラスでは、業界の有識者で構成された実行委員会を組織して精力的な来場動員に努めていく。素材産業の最新動向をはじめ、自動車メーカーによる事例紹介やものづくりにおける知的好奇心を満たす内容に至るまで幅広いテーマでセミナー企画が進行中だ。既に京都大学の沼田圭司氏や国立研究開発法人物質・材料研究機構(NIMS)の内藤昌信氏の特別講演が決定。研究・開発部門を中心とした関係者の来場が期待される。

エヌプラス実行委員会

2023年4月1日時点

川崎 徹	(有)カワサキテクノリサーチ 代表取締役
渡邊 哲哉	(株)クラレ インノベーションネットワークセンター 主管
岡本 敏	住友化学(株) 経営企画室 特命事項統括
佐藤 千明	東京工業大学科学技術創成研究院 教授
内山 昭彦	帝人(株) ミッション・エグゼクティブ 技監 知的財産部長
大越 雅之	(一社)難燃材料研究会 代表理事
澤越 俊幸	(一社)日本AM協会 専務理事
高木喜代次	三菱ケミカル(株) ポリマー事業本部 / MMA ビジネスグループ 本部長付

(順不同・敬称略)

空の移動革命実現へ官民一体!

拡がる『空飛ぶクルマ』のビジネスステージ

エヌプラスと同時開催する「空飛ぶクルマ」の技術開発と普及・活用を支援する専門展示会「フライングカーテクノロジー」(実行委員長:中野冠(慶應義塾大学))も今秋の開催に向けて始動。新メンバーが加わった初回の実行委員会では、業界のキーパーソンが最新の話題を持ち寄り活発な意見交換が行われた。

開幕まで2年を切った2025年の大阪・関西万博での実用化へ向けて官民一体の取り組みが急ピッチで進む中、今年にはさまざまな基準や制度が固まる重要な1年。課題となる安全性や信頼性の確保、電動化に関わる技術開発や運航に関わる体制の構築、パイロット(離着陸場)の整備、さらには都市間交通、離島・山岳などの地方交通、観光や物流、災害救助や救急医療への活用・新サービスなど、多くの企業が参加できる絶好のビジネスステージが広がる本分野には、全国の自治体をはじめさまざまな業界の企業から期待と注目が集まる。

朝の連続テレビ小説でも話題に普及のキギは「社会受容性」

次世代の移動手段として「2025年大阪・関西万博」を皮切りに幅広いシーンで活躍が期待される「空飛ぶクルマ」。先ごろ、2年後の万博における空飛ぶクルマの運航事業者が発表された。参加企業はANAホールディングス、日本航空、丸紅、Sky Driveの4団体。会場内ポート(離着陸場)の運営についてはオリックスが担当となった。3月に最終回を迎えたNHKの朝の連続テレビ小説「舞い上がり」でも取り上げられ、全国各地で行われている実証実験で有人飛行がニュースになるなど、連日メディアに注目されることで、普及のキギとなる社会受容性を高めている段階だ。一般向けの予約販売も開始され、いよいよ夢の世界が現実となる日が迫ってきた。

まだまだ課題は山積み多くのビジネスチャンスが

エヌプラスの特別企画展として空飛ぶクルマの専門展示会「フライングカーテクノロジー」を初開催したのが2020年。今年で4回目の開催となる。過去3回の開催では、コロナ禍の実施に関わらず、メーカーの実機展示をはじめ、さまざまな技術や関連サービスが一堂に集結。関連セミナーには会場からあふれるほどの聴講者が集まり、エヌプラスのキラーコンテンツとなった。業界の関係者が一年に一度、確かな進歩を確認しあい、新しいマツチングを生み出す場として浸透しつつある。本格普及までにはまだ時間ばかりかろうだが、航空、自動車、大手商社、IT産業、不動産、観光業界、政府・自治体まで巻き込んだ一大産業が生まれ、高い技術力と安全品質を誇る日本が世界をリード

空飛ぶクルマの専門展示会「フライングカーテクノロジー」

するチャンスとなっている。本展は、今年も機体の開発に役立つ素材・加工技術から運航・運用、活用・関連サービスに加えて、特設テーマとして「パイロット(離着陸場)整備」「位置情報・気象情報活用」を新設して、広く出展を募集中。新規参入に積極的な企業のマッチングをサポートする。エヌプラスとの同時開催による相乗効果にも期待がふくらむ。



業界のキープレイヤーが集結セミナーは今年も必聴

本展は空飛ぶクルマに関わる関係者による実行委員会を組織。政府や自治体を中心として組織している。空の移動革命に向けた官民協議会や「空の移動革命社会実装大阪ラウンドテーブル」へ携わるメンバーも多い。先日、新たなメンバーも加わり、今年初めての実行委員会が開かれ、9月の開催に向けて活発な議論が行われた。

フライングカーテクノロジー実行委員会				
2023年3月31日時点				
委員長	中野 冠	慶應義塾大学大学院付属システムデザイン・マネジメント研究所 顧問		
委員	伊藤 健	(国研) 宇宙航空研究開発機構 航空技術部門 航空イノベーション統括	菊地 英一 (株)長大 事業戦略担当 執行役員 事業戦略推進統轄部 事業部長	
	浅井 尚	エアモビリティ(株) 代表取締役社長&CEO	中井 佑 テトラ・アビエーション(株) 代表取締役	
	木下 幹巳	エアロファシリティ(株) 代表取締役社長	桐原祐一郎 デロイトトーマツコンサルティング(同) IP&C 執行役員	
	福澤 知浩	(株)SkyDrive 代表取締役 CEO	村田 祐介 東京海上日動火災保険(株) 航空宇宙・旅行産業部 航空営業課長	
	東稔 俊史	(株)SUBARU 航空宇宙カンパニー 技術開発センター長	山下 敏明 日本電気(株) 電波・誘導統括部 プロフェッショナル	
	藤沢 秀幸	(株)ゼンリン 取締役	鋤本 浩一 (一社)MASC 東京事務局	

万博後は国内での商用運航が期待されている一方で、日本国内での普及に向けては乗り越えなければならない課題も多い。実行委員会では、今年も課題解決とさらなる普及を目指して業界の最新動向を反映した質の高いセミナーを企画。経済産業省、国土交通省、NEDO、JAXA、自治体などの関係機関やキープレイヤー企業による最新の技術提案、活用事例などのプログラムを予定している。また、例年注目が集まる実機展示も最終調整中となっており、今年も一人でも多くの来場者に「空飛ぶクルマ」を体験して欲しいとしている。

エヌプラスが大幅リニューアル!



全体構成



高機能・高付加価値の提案

貴社の技術力・製品特性で効果的にアプローチ!

- プラスチック・フィルム・ゴム等の高機能化と循環利用を提案 **プラスチック高機能化展**
- さまざまな材料の優れた特長を活かした適材適所を提案 **マルチマテリアル化展**
- 日本のものづくりを支える製造・加工技術の提案 **受託・付加製造・加工技術展**
- あらゆる動力の電動化と電池・給電技術の高機能化を提案 **電動化・電池・給電技術展**
- 軽量・高強度化を実現する材料、成形技術、新素材の提案 **軽量化・高強度化展**
- 機能性と意匠性を高めるためのコーティング技術を提案 **コーティング・表面処理展**
- 次世代のものづくりに不可欠な電磁波対策と熱対策の提案 **電磁波対策・放熱技術展**



持続可能なものづくりの提案

サステナブルなテーマでPR効果を最大化!

- SDGs、カーボンニュートラルの実現に応える素材と技術 **環境配慮型素材展**
- 植物由来の天然素材・技術と用途開発の提案 **セルロースナノファイバー展**
- 製品の省資源化、サーキュラーエコノミーの提案 **製品の長寿命化・循環活用展**
- デジタル技術が促進するものづくり開発環境の効率化 **次世代製品開発DX展**

N-Plus 特別企画展

事業化と普及促進に向けて拡がる『空飛ぶクルマ』のビジネスステージ



あらゆる業界への新用途提案を実現する 12のキーワード

来場対象

- 自動車・部品・機械
- 航空・宇宙・鉄道・造船
- 電子・精密機器・半導体
- 容器・包装
- メディカル・化粧品
- 建設・住宅

今こそ直接会って商談ができるリアル展示会へ!
貴社の販促拡大に向けたご活用を

出展申込受付中! 詳しくは事務局までお問い合わせください。

TEL: 03-3503-7621 E-mail: office@n-plus.biz